

ハーマンとPSAグループが、次世代車の アーキテクチャで必須のサイバーセキュ リティソリューション実現に向け連携

ハーマンおよびPSAグループが、次世代コネクテッド車および自律走行車の高度なセキュリティソリューションについて、総合的な分析、設計、実現可能性の研究を実施

ジュネーブ・インターナショナル・モーターショー、2018年3月7日-サムスン電子の完全子会社で、自動車、一般消費者、エンタープライズの各市場向けのコネクテッド技術に注力するハーマンインターナショナルと、ヨーロッパで2番目の規模を誇る自動車メーカーであるPSAグループは、PSAグループの次世代コネクテッド車および自律走行車の総合的なサイバーセキュリティ戦略の構築に向けて、両社が協力することを発表しました。発表されたこの両社の共同作業は、2年間におよび、潜在的な脅威の分析から、セキュリティ設計、ADAS、次世代自律走行車ネットワーク用の高度な侵入検知システムの実現可能性に関する調査まで幅広い分野を含みます。

「車のインターネット接続が増え技術が進化することで、安全性が劇的に高まりますが、同時にサイバーセキュリティのリスクも増加します。」とPSAでコネクテッド車のEEアーキテクチャおよびサイバーセキュリティのシニアエキスパートであるEric DEQUILは述べています。「PSAグループは、過去5年間にサイバーにフォーカスし、ハーマンオートモーティブサイバーセキュリティチームとパートナー関係を築き、彼らの専門性に基づきPSAグループの次世代アーキテクチャに必要なサイバーセキュリティ対策を構築してきました。私達は、侵入検知システムを構築するためにPeugeot車に対するハーマンのECUSHIELDソリューションを実装し評価することにフォーカスしてきました。現在のレベルの協力関係はPSAグループにとって重要で必須のものになり、私達はこれからも継続してサイバーセキュリティ技術を製品の全ライフサイクルに取り入れていくつもりです。」

最近のレポートで、IHSマークイット社は、サイバーセキュリティソフトウェアおよびサービスの収益は、2020年までに250ドルを超え、そのうちの20%はIDPSソフトウェアの収益から得られると見積もっています。

オートモーティブサイバーセキュリティのバイスプレジデントYuval Weisglass氏は次のように述べています。「半自律システムおよびADASシステムをさまざまなサイバー攻撃から守るために、セキュリティを組み込んだ設計を採用し、従来にない検知機能および保護機能を開発する必要がありますが、今がまさにそのタイミングです。PSAグループがハーマンをサイバーセキュリティのパートナーに一貫して選んでくれたことに光栄に思っています。このことは、ハーマンの複雑なセキュリティ問題に対する理解と、自動車業界により必要とされる究極のサイバーセキュリティソリューションの強力な証左となりました。」

ハーマン

車載サイバーセキュリティ
コネクテッド・サービス部門
住所： 20 Atir Yeda St., Kfar Saba,
44643, Israel
+972-9-8811050
+972-9-8233162
Dvir.Reznik@harman.com

当社のWebサイト [harman.com/
security](http://harman.com/security) に是非アクセスしてください
本ソリューションに対するお問い合わせは
下記までご連絡下さい。
ハーマンインターナショナル株式会社
奥田 正和
電話： +81-52-307-8816
Masakazu.Okuda@harman.com

www.harman.com

©2018 HARMAN INTERNATIONAL
INDUSTRIES, INCORPORATED
本文書は情報提供のみを目的としています。無断
転用禁止。